

INVESTOR RELATIONS デリカレポート

DELICA REPORT

19 第19期 中間事業報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



デリカフーズホールディングス株式会社
DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

東証1部 証券コード 3392

TOP MESSAGE 2021.November

はじめに、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様からのお見舞いを申し上げます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当期も事業報告をすることができましたのは、ひとえに株主の皆様のご理解ご支援の賜物と重ねて御礼を申し上げます。

当社グループの属する食品関連業界におきましても、一部には「すごもり消費」等による需要を捕らえ堅調に推移する業態もありましたが、外食産業を中心に、店舗の営業自粛や営業時間の短縮により通常の営業活動を控えざるを得ないなど、予断を許さない状況が継続しております。

このような状況下で、当社グループにおきましては、引き続き従業員や取引先様等の感染防止を最優先としながら、積極的に新規・深耕の営業活動を実施する中で、テイクアウト、ドライブスルー、宅配・デリバリー、専門店等のコロナ禍に強い業態や、既存外食以外の中食、小売・量販、給食等への拡販をより一層加速させました。更に、物流ルート再編や時間外労務費の縮小など、徹底した効率化による損益分岐点の低減継続にも努めました。

また、2021年5月に発表しました新中期経営計画「Transformation 2024」を実現すべく、それぞれ具体的な施策展開を推進しているところです。

このような活動強化を推し進める一方で、期中に断続的に発令された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響は大きく、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,117百万円(前年同四半期比29.0%増)となりました。利

益につきましても、夏期に発生した長雨や9月の気温低下や日照不足による葉菜類の市況悪化の影響も重なり、営業損失は709百万円(前年同四半期は1,354百万円の営業損失)、経常損失は611百万円(前年同四半期は1,015百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は768百万円(前年同四半期は776百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)と前年同期比では改善させたものの、黒字回復までには至りませんでした。

尚、足下では、緊急事態宣言が10月より解除となり、徐々に受注環境も改善しつつあります。また、昨年開始したBtoCビジネスでは、合併会社・株式会社青果日和研究所に加え、ミールキット事業を強化すべく8月には新会社・楽彩株式会社を設立し体制の整備を進めております。

今後の環境改善を視野に、青果物流通全般を担うべく、引き続きより一層のグループ体制強化を進めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

大崎 善保



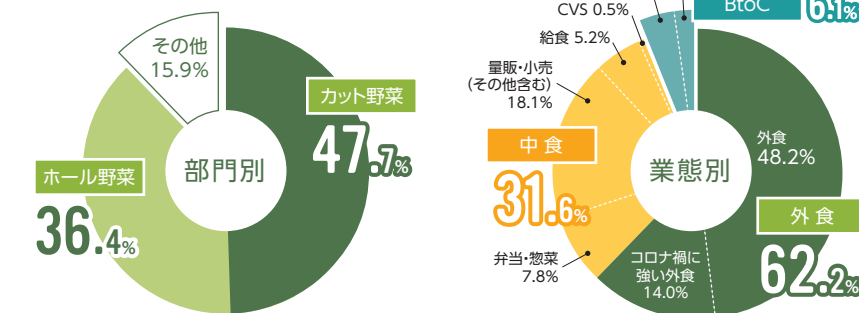
業績の概況

積極的な新規・深耕の営業活動で 前年の第2四半期連結累計期間と比べ 売上高が増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績

売上高	18,117百万円 (前年同四半期比29.0%増)
営業損失(△)	△709百万円
経常損失(△)	△611百万円
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△768百万円
1株当たり 四半期損失(△)	△52.02円

販売構成比



加工していない野菜そのものをホール野菜、お客様のご要望に合わせて加工されたものをカット野菜といいます。また、第三の基軸商品として展開している真空加熱野菜もカット野菜に分類されます。

コロナ禍に強い外食とは、テイクアウトやドライブスルーを行っている店舗、宅配・デリバリー業態、専門店などを指します。

取締役のご紹介

取締役



こばやし けんじ
小林 憲司

デリカフーズ株式会社
代表取締役社長 兼任

取締役



なかやま こんの
仲山 紺之

社外取締役



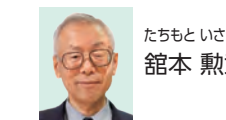
おざき ひろゆき
尾崎 弘之

社外取締役



しばた みすず
柴田 美鈴

取締役会長



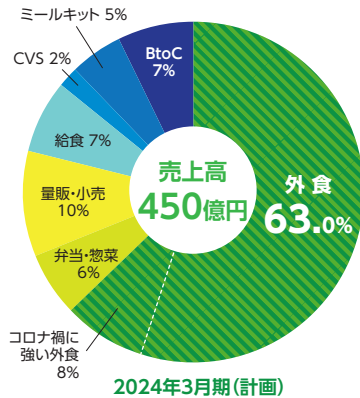
たちもと いさだけ
館本 勲武

Delica movement!

— Transformation 2024への動き —

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世の中は大きく変化しました。当社グループでも、BtoC事業への進出や、販路の拡大など、消費者・世の中のニーズに合わせた事業を行ってまいります。

事業ポートフォリオの変革



BtoC事業の拡大から、お客様の「食事」にこれまで以上に寄り添います

デリカフーズ株式会社 BtoC事業部 浅香 笑子



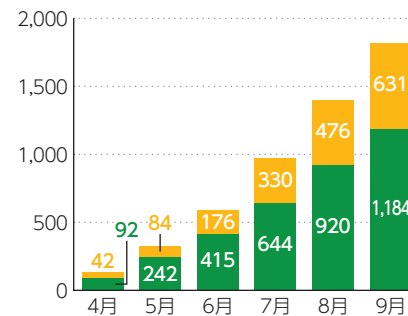
2020年に立ち上げたBtoC事業部の担当者として、「人との繋がり」を大切にしたいと考えてまいりました。全国の農家さんが丹精込めて栽培した野菜を、業者の方が運び、一般消費者の食卓に並びます。私たちの商品に関わるすべての方と真剣に向き合い、業務に励んでおります。また、BtoB事業では厨房のための商品を提供していましたが、BtoC事業では調理が簡単でそのまま食べられる商品が求められます。そのため、今まで以上にお客様が食事をする姿を想像しつつ、商品設計を行っています。今後は、デリカフーズグループの大きな柱として事業を成長させるため、多くの方にブランドを知っていただき、当社グループが提供する青果物の魅力を伝えていきたいと考えております。

コロナ禍での積極的な営業活動 新規・深耕営業で、18億円の売上高を獲得

2021年5月に発表いたしました、デリカフーズホールディングス株式会社 新中期経営計画「Transformation 2024」のひとつの柱である「事業ポートフォリオの変革」を推し進めるために、お客様の新規・深耕獲得へ向け積極的に営業活動を展開いたしました。特にテイクアウトやドライブスルーを行っている店舗、宅配・デリバリー業態、専門店などの、コロナ禍に強い外食業態や、中食、小売・量販、給食事業などへのアプローチを強化することで、上期は約18億円の売上高を獲得しております。

【業態別獲得実績】

外食	901
給食(社員食堂・病院)	266
量販・小売	237
中食	225
ベンダー・工場	106
B2C事業	80
その他	1
合計	1,815



単位：百万円 ■ 新規獲得実績(累計) ■ 深耕獲得実績(累計)

Move!
01

「楽彩株式会社」を設立

グループの総合力を活かし「台所の代行業」を担う

2021年8月27日に、SPA型新規事業として楽彩株式会社を設立いたしました。「楽しく」「楽して」「食卓を彩る」をコンセプトに、利便性の高いミールキットなどを一般消費者に向けて販売してまいります。当社グループではこれまで、「企業力」「リードタイム」「研究開発力」「調達力」を培ってまいりました。長年の研究に基づいたおいしい健康レシピを、安心・安全・スピーディにお届けし、当社グループならではの価値を付加いたします。今後は、新規事業を通して、皆様に新たな食のライフスタイルをご提案してまいります。



Check

九州屋でのミールキット販売を開始

株式会社九州屋は、当社グループと業務提携しているエア・ウォーター株式会社のグループ会社で、日本全国の採れたて野菜やフルーツを販売しています。こちらの店舗にて、2021年10月より楽彩のミールキットのテスト販売を開始いたしました。現在、関東3店舗で当社社員が店頭販売し、お客様の声を直接聞くことで商品開発に活かしております。



Move!
02

「SHEL'TER DELI」への協業

「青果日和」ブランドの商品開発や店舗運営のノウハウを提供

当社グループの「青果日和」ブランドが、株式会社バロックジャパンリミテッドの新業態フードビジネス「SHEL'TER DELI」において協業することとなりました。「食の健康を意識したライフスタイルコーディネート」をコンセプトにしており、サラダや惣菜を提供する同事業に対して、青果日和ブランドの商品開発や店舗運営のノウハウを提供してまいります。また、「おいしい」だけでなく、青果物を無駄なくメニューに取り入れることで、フードロスや環境への配慮も行い、SDGsの目標達成に貢献いたします。

株式会社バロックジャパンリミテッドとは？

「MOUSSY」「SLY」「rienda」「AZUL BY MOUSSY」などのファッションブランドを国内外に展開する製造小売の企業です。店舗数は国内で375店舗(2021年7月末時点)、海外303店舗(2021年5月末時点)で、売上高は505億9,000万円(2021年2月期連結)に及びます。





脱炭素社会の構築に貢献

当社グループは、青果物流通事業の拡大によって青果物の消費量を増やすとともに、農業の成長を推し進めることで、二酸化炭素の吸収量を増やし、持続可能な社会の構築に貢献ができると考えております。当社グループの成長が脱炭素社会の実現への後押しにつながるという意識を持ち、日々経営を行ってまいります。

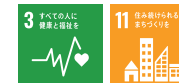


delica movement!

サステイナビリティ 経営の推進

当社グループでは、持続可能な取り組みを行っております。社会に貢献できる

社会の実現のため、さまざまな今後も未来に向けた経営を行い、よう邁進いたします。



朝市を通じた地域との交流

デリカフーズ株式会社では、若手社員が中心となり「朝市」を開催しております。会場は主に各事業所の駐車場や地域の公園で、野菜の調達から、集客のためのビラ配り、当日の店頭販売や会計まで、すべての工程を自分たちで行ないます。売上金は地元自治体に寄付するなど、地域の発展に奉仕しております。



循環型の事業活動を目指して

食品ロス削減の取り組みの一環として、全国5か所の事業所に残渣リサイクルシステムを導入しております。このシステムを用いて、日々発生する野菜ゴミを微生物などを活用して堆肥化し、農産物の肥料に使用することで、循環型の事業活動を目指しております。



省エネルギー化への取り組み

東京事業所と神奈川事業所では、「排水未利用冷熱を活用した温度差エネルギー冷却システム」を導入しております。カット野菜製造ラインから排出される水の冷熱を利用し、チラー（液体を冷やす装置）にかける電力を減らすことで、省エネルギー化やコスト削減を実現しております。



「野菜塾」での情報発信

業界全体の活性化のため、「野菜塾」という勉強会を開催しております。各界から講師の先生をお招きし、特別講演や特別セミナーなどを行うとともに、流通や新商品に関する新たな提案の場としても活用しております。また、来場されたお客様には、季節の旬な味覚を使ったオリジナルメニューを紹介し、試食をご提供しております。



子ども食堂へのカット野菜の提供 NEW!

足立区の子供・若者の支援を行っている「一般社団法人あだち子ども支援ネット」が主催する子ども食堂へ、当社のカット野菜などの商品を提供しております。コロナ禍の現在は、会場での食事ではなく、お弁当を配布。開催日当日に作られるお弁当にご使用いただいています。活動を通して地域社会とのつながりや健康の大切さを伝え、支援を必要とされる方への貢献を目指してまいります。



NEWS デリカフーズ株式会社

「DELICA Connect」で省人化・効率化を実現

デリカフーズ株式会社ではDXの一環として、2021年夏より「DELICA Connect(デリカコネクト)」を導入いたしました。こちらはお客様向けの自社ECサイトとなり、現在150店舗を超えるお客様にご利用いただいております。一度設定すれば自動で定期予約される「マイリピート機能」や、お気に入り商品を登録できる機能が搭載されており、日々の発注を効率よくできるシステムです。インターネット環境さえあれば、PCやモバイル端末でどこからでも発注可能という強みを生かし、今後は利用店舗をさらに拡大していきたいと考えております。



NEWS エフエスロジスティクス株式会社

「ホワイト経営認証」の一つ星を取得

エフエスロジスティクス株式会社は、「運転者職場環境良好度認証制度(ホワイト経営認証)」の一つ星の認証を取得いたしました。この制度は、職場環境改善に向けた各事業者の取り組みを第三者機関の中立的・客観的評価として示すもので、「法令遵守」「労働時間・休日」「心身の健康」「安心・安定、多様な人材の確保・育成」の5項目で審査されます。初年度は一つ星の取得となり、それ以降、取り組み内容によって二つ星、最高ランクの三つ星まで取得することができます。今後も、よりよい労働環境づくりのために改善を実施し、優良会社を目指してまいります。



運転者職場環境良好度認証制度(ホワイト経営認証)の目的

職場環境改善に向けた各事業者の取り組みを「見える化」することで、求職者のイメージ刷新を図り、運転者への就職を促進することを目的として、国土交通省により2020年8月に設立されました。

決算レポート(第19期中間事業報告 要旨)

四半期連結財務諸表と当四半期決算のポイントについてご説明します。

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位:千円

科目	第18期 前連結会計年度 (2021年3月31日)	第19期 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
■資産の部		
流動資産	8,903,106	8,235,709
固定資産	13,729,790	13,622,910
資産合計	22,632,897	21,858,619
■負債の部		
流動負債	6,957,811	7,195,063
固定負債①	8,558,300	8,367,640
負債合計	15,516,111	15,562,703
■純資産の部		
株主資本	6,944,684	6,102,867
その他の包括利益累計額	172,101	193,047
純資産合計②	7,116,785	6,295,915
負債純資産合計	22,632,897	21,858,619

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:千円

科目	第18期 前第2四半期連結累計期間 自2020年4月1日 至2020年9月30日	第19期 当第2四半期連結累計期間 自2021年4月1日 至2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△496,286	248,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,873	△363,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,252,045	△345,541
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	305,886	△460,481
現金及び現金同等物の期首残高	3,930,504	4,314,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,236,390	3,853,711

決算数値
POINT

① 固定負債

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、8,367百万円となりました。これは、主としてその他の固定負債が22百万円増加した一方、長期借入金が223百万円減少したことなどによりです。

② 純資産合計

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11.5%減少し、6,295百万円となりました。これは、主として利益剰余金が841百万円減少したことなどによりです。

四半期連結損益計算書(要旨)

単位:千円

科目	第18期 前第2四半期連結累計期間 自2020年4月1日 至2020年9月30日	第19期 当第2四半期連結累計期間 自2021年4月1日 至2021年9月30日
売上高	14,042,712	18,117,853
売上原価	11,641,559	14,831,528
売上総利益	2,401,153	3,286,325
販売費及び一般管理費	3,755,375	3,996,285
営業損失(△)	△1,354,222	△709,960
営業外収益	367,486	118,464
営業外費用	28,699	19,602
経常損失(△)	△1,015,434	△611,098
特別利益	271	53
特別損失	9,252	35,338
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,024,415	△646,382
法人等	△247,950	121,617
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△776,465	△768,000

	第18期 前第2四半期連結累計期間 自2020年4月1日 至2020年9月30日	第19期 当第2四半期連結累計期間 自2021年4月1日 至2021年9月30日
1株当たり四半期純損失(△)(円)	△52.62	△52.02
1株当たり純資産(円)	490.08	426.46
自己資本(百万円)	7,235	6,295
自己資本比率(%)	32.2	28.8

青果物の新たな価値を創造し、「野菜の生産者」と「食の提供者」をつなぐ **青果物専門商社**

• **デリカフーズ**

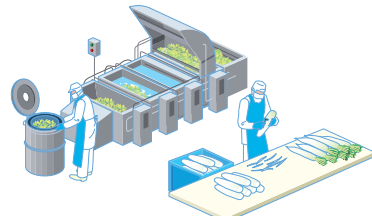
【購買】
**厳選した産地からの
安定供給**



厳選された契約産地からの、野菜の安定供給に努めています。農家様との連携を大事にし、外食、中食の市場ニーズなど情報提供も行っています。

• **デリカフーズ**

【加工】
野菜を新鮮なまま全国にお届け



仕入れた野菜を加工、鮮度を保って全国2万8千店舗にお届けしています。最新技術を取り入れ、衛生管理や品質向上、効率化を図ります。

• **メディカル青果物研究所**

【野菜価値の向上】
**野菜をはじめとした食品全般の
受託分析から情報を発信**

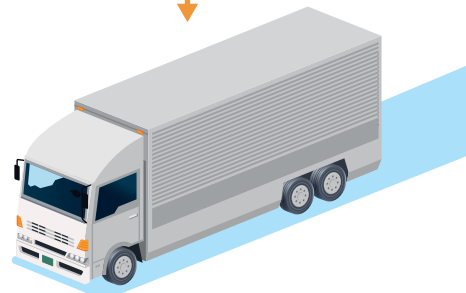


長年の研究により作り上げた野菜のデータベースをもとに、野菜をはじめ食品全般の受託分析を行い、食ビジネスにおける野菜の新しい魅力を発掘し、情報を発信しています。

• **エフエスロジスティクス**

【物流効率の向上】
**安心・安全に
365日24hチルド配送でお届け**

グループのクールチェーンを実現するため、全国に広がるチルド配送網を活かし、毎日新鮮な野菜をお届けしています。



• **デザイナーフーズ**

【野菜消費拡大】
**生活にあわせた
食べ方をデザイン**

「選食力」＝「栄養力」＝「健康力」と位置づけ、外食、中食、宅配などニーズに応じ、食材の組合せ、調理方法まで考慮した科学的根拠のあるメニューの考案から、販売戦略セミナー・講演など、食をトータルでプロデュースします。



• **デリカフーズ** • **デリカフーズ北海道** • **デリカフーズ長崎** • **青果日和・楽彩**

【商品開発】
**豊かで健康な
暮らしをご提案**

お客様のニーズに合わせた提案、メニュー開発など、野菜のことをよく知る当社だから可能な販売(提案型営業)を行っています。また、これまでつちかっていた、ノウハウを活かした、オリジナル商品、ブランド開発を行っています。



産地レポート vol.17

有限会社 丸富青果 @北海道

デリカフーズに野菜を納入していただいている、生産者のみなさんをご紹介します。コーナーです。



当社との出会い

デリカフーズとの取引が始まったのは2010年です。北海道内の協力会社からのご紹介がきっかけでした。今後も、信頼関係を絶やさず、継続してお付き合いをしていきたいと考えています。

環境に配慮しながら安心・安全な野菜を栽培 「消費者目線」で妥協のない生産を徹底

北海道の東部に位置するオホーツク地域は、年間降水量が800mm前後と北海道内で最も少なく、夏場でも冷涼な気候の地域です。農地の特徴は、丘陵地の火山性土や、低地の泥炭土が大半を占めていることで、丘陵地では根菜類、低地では玉葱などが中心に栽培されています。有限会社 丸富青果は、そんなオホーツク地域で玉葱、人参、馬鈴薯を生産。北海道の広大な土地を生き、用水路や井戸を水源とした灌水設備を確立しています。

栽培で力を入れていることは、環境へ配慮しながら安心安全な商品を生産することです。「有機JAS生産工程管理者」という、有機農産物を取り扱うことができる認定の取得をきっかけに、さまざまな取り組みを始めました。例えば、「IPM」は農薬だけでなく様々な手法を組み合わせ、環境へのリスクを抑えた害虫・雑草を駆除する技術です。その他、安全性と持続可能性を証明する国際規格である「GLOBAL G.A.P認証」も取得しています。私たちのモットーは、自分自身が「消費者目線」で考えることです。自分たちが食べたいと思える野菜を栽培することが、品質の向上につながると考えています。今後も、継続して安心・安全な野菜をお客様にご提供できるよう邁進していきます。

会社概要

2021年9月30日現在

商号	デリカフーズホールディングス株式会社		
英文社名	DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.		
設立	平成 15 年 4 月 1 日		
創業	昭和 54 年 10 月 6 日		
所在地	〒121-0073 東京都足立区六町四丁目 12 番 12 号		
資本金	1,377,113 千円		
従業員数 (連結)	640 名 (他、平均臨時雇用者数 1,816 名)		

役員

代表取締役社長	大崎 善保	社外取締役	尾崎 弘之
取締役	小林 憲司	社外取締役	柴田 美鈴
取締役	仲山 紺之	常勤監査役	野村 五郎
取締役会長	舘本 勲武	社外監査役	森田 雅也
		社外監査役	三島 宏太

会計監査人 仰星監査法人

株式状況

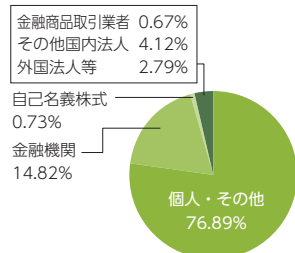
2021年9月30日現在

発行済株式総数 14,872,000 株
株主総数 11,429 名

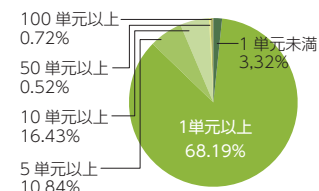
大株主

舘本 篤志	2,038,900 株
舘本 勲武	1,784,900 株
(株)日本カスタディ銀行 (信託口)	1,294,200 株
日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口)	597,100 株
大崎 善保	241,800 株
エア・ウォーター株式会社	219,400 株
野村 五郎	189,800 株
丹羽 真清	185,500 株
株式会社クローバフォー	160,000 株
デリカフーズグループ 従業員持株会	155,600 株

【株主分布状況】



【所有株式数別分布状況】



株主メモ

事業年度	4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
期末配当金受領株主確定日	3 月 31 日
中間配当金受領株主確定日	9 月 30 日
定時株主総会	毎年 6 月
株主名簿管理人	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL.0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 株式会社東京証券取引所 (証券コード 3392) 電子公告により行う
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 (証券コード 3392)
公告の方法	電子公告により行う

公告掲載 URL <https://www.delica.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機構(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



デリカフーズホールディングス株式会社

DELICA FOODS HOLDINGS CO., LTD.

〒121-0073 東京都足立区六町四丁目12番12号



IR最新情報は
ホームページを
ご覧ください。

デリカフーズ



<https://www.delica.co.jp/>

【お問い合わせ】 TEL 03(3858)1037 FAX 03(5851)1056



本事業報告書は、地球環境への負担を低減させるために、FSC®認証紙と、UVエコインキを使用しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。